

# 一般質問通告書

岩美町議会会議規則第61条第2項の規定により、一般質問したいので通告します。

令和2年 9月 7日

岩美町議会議長 足立 義明 様

岩美町議会議員 杉村 宏 印

記

質問事項	質問要旨
1 学校教育は転換するの か。	<p>「子供は大人より貪欲に情報処理を求める。」と 言われているが、経済協力開発機構（OECD）によ ると、日本の教育はデジタル空白地帯とされてい る。そして、文部科学省は小中学校の生徒1人 に情報端末を1台配備する「GIGAスクール構 想」の実現目標を23年度から20年度に前倒し した。本町でも本年度中に生徒1人当たり1台 が実現する。しかし、1人1台は、同じ内容を 一斉に教える従来の授業方法から個々の習熟 度に合わせた学びに転換するための、情報通信 技術（ICT）を活用する道具にすぎない。本 町において、GIGAスクール構想実現のため の工程表などは示されていないが、学校教育 は転換しようとしているのか。</p> <p>1、校内ネットワーク（Wi-Fi）、学校の カメラ・マイク・電子黒板の整備や、末端機材 の管理、家庭でのオンライン学習環境やモバイル ルーターなどの貸し出しの考え方はどうか。及 び、生徒個人の所有するスマートフォンとの違 いは何か。</p> <p>2、教師のICT活用力の現状と課題はどうか。 及び、ICT活用による教師の負担軽減は図れ ないか。</p> <p>3、保護者への説明はどうか。</p>

\* 「要旨」であるためには、少なくとも内容についての具体性がなければならない。  
「何々一般」というようなものは、要旨にはならない。

質 問 事 項	質 問 要 旨
<p>2. 岩井快速便は失敗か。</p>	<p>4、視覚・聴覚を中心とし個別最適化を目指すオンラインによる学習が、人間の五感すべてを使って共感することや信頼を形成することも含む学びを、全て代替するとは考えていないが、G I G Aスクール構想実現に踏み出している、そしてより踏み込まなければ、Society5.0と呼ばれる時代を生きることとなる子供たちに対して、大人ができることは何だろうかと考えるとき、本町の学校教育は転換しようとしているのか。</p> <p>平成30年5月に事業者より取り計らいをお願いされ、同年10月に新設された路線バス岩井快速便は、1便当たりの利用者が1人を越えることが無いまま、鳥取県関係の公費2000万円を超える支出が見込まれる中で、令和3年3月末での廃止が報告されている。</p> <p>1、岩井快速便は失敗であったと捉えているか。</p> <p>2、岩井快速便が、ゆめぐりエクスプレスバス接続のほかに、新温泉町営バスとも接続されており、新温泉町にとって鳥取への移動手段であったことは、従来の答弁で「時間帯の変更はゆめぐりエクスプレスバスとの関係で難しい」とされたことや、鳥取県作成の文書からも明らかである。また、中核市である鳥取市を中心とした圏域内の交通手段の確保は重要なことで、沿線自治体は協議の場に乗るべきだ。本町は、従来から協議してきたか。今後はどうか。</p>

\* 「要旨」であるためには、少なくとも内容についての具体性がなければならない。「何々一般」というようなものは、要旨にはならない。